

登録コード	HB493200	開講年度	2026				
授業題目	脳卒中外科学特論					担当教員	堀内 哲吉 他
英文授業名	Cerebral apoplexy					副担当	金谷 康平・藤井 雄
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HB4年制初						
	【専攻】医学と理工学の融合領域の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	最新の手術治療について理解する。
(2)詳細/Detailed information	本講義では、脳血管障害の病態と外科治療ならびに周手術期管理を解説し、実際の手術に参加したり術中のビデオをみたりすることで実習を行う。総論で勉強した脳中枢神経の解剖、機能といった知識をもとに、脳血管障害の各疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）に対する知識を習得する。基礎的な知識を習得後に診断と治療、とりわけ、それらの最近の進歩についても解説する。						
(3)授業の概要/Overview of course	同上						
(4)授業計画/Course plan	堀内哲吉、金谷康平：脳梗塞（脳虚血），脳出血，くも膜下出血の診断，治療（特に外科治療），周術期管理について解説し，治療指針となる治療ガイドラインを説明する。また，各疾患における診断および治療に関係する遺伝子解析を概説する。 堀内哲吉、藤井雄：脳動脈瘤と虚血性脳血管障害の診断と治療に関して解説する。動脈瘤においては画像診断学的特徴と適切な手術アプローチの選択につき概説する。特に治療困難な内頸動脈瘤に関しては3次元画像に基づいた分類学的特性と選択すべき手術治療方法を解説する。また統計学的な各脳動脈瘤の部位差についても概説する。虚血性脳血管障害に関しては病態に即した外科治療法につき概説する。						
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	授業終了後、簡単な記述式の小テスト・小レポートを実施することにより、その時間に話した内容についての理解度を調べる。すべての授業終了後には、授業の内容に関連したレポートの課題を与える。小テスト50%、レポート50%として100点満点で採点する。90点以上秀、80-90点優、70-80点良、60-70点可、60点未満不可とする。						
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	本講座では、脳脊髄に関する血管障害疾患を通して、その解剖および機能を勉強し習得することを目標とする。よって、各講師陣の講義でこれらの観点より中枢神経の働きを身につけることを評価の基準とする。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	本講義は、トピックス的な話題を集めたものではなく、系統的な内容を積み上げていく連続形式の授業形態をとる。そのため講義には学会発表など致し方ない場合を除き、欠席することなくできる限り出席すること。						
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。またメールでの対応も行う予定である。						
(9)授業の形式/Course format	先ほども述べた通り、本講義は積み上げ式の講義形態をとる予定である。講義が終わってから講義資料をよく読み返し復習して次の授業に備えること。						
【教科書/Textbook(s)】							
【参考書/Reference work(s)】							